

・11) 北川正信：老年者肺癌の病理学的特徴。Geriatric Medicine 22：990—994, 1984.

12) 石崎武志，宮保 進，岸田 繁，北中 勇，森永健市，越野 健，近藤邦夫，西岡真二，北尾武，大竹茂樹，藤村政樹，上田幹夫，服部絢一，北川正信：過敏性肺臓炎を合併し，経過中に肺結核症の再燃を認めた慢性関節リウマチの1例。日胸43：702—707, 1984.

13) 酒徳光明，渡辺洋字，大村健二，川浦幸光，岩 喬，北川正信，松原藤継：胸腺原発扁平上皮癌の一例。北陸外会誌 3：75—78, 1984.

14) 北川正信：びまん性汎細気管支炎。病理と臨床 2：1299—1306, 1984.

15) 飯田茂穂，渡辺洋字，綱村幸夫，麻柄達夫，岩 喬，北川正信，松原藤継：肺平滑筋腫の1例。臨床胸部外科 4：740—744, 1984.

16) 杉山英二，鈴木英彦，赤川直次，山下直宏，矢野三郎，飯田博行，北川正信：IgA腎症を合併した Behçet 病の1例。日内会誌 73：1818—1822, 1984.

17) 東口隆一，堅田 均，上野美智代，成田亘啓，三上理一郎，今井俊介，螺良義彦，北川正信：多発性空洞陰影を呈した乳頭型腺癌，細気管支肺胞型の一部検例。肺癌 24：743—748, 1984.

◆ 学会報告

1) Kitagawa, M. : Environmental exposures and lung cancer. U. S. —Japan Seminar on the role of pathologists in cancer epidemiology under U. S. —Japan Co-operative Cancer Research Program, 1984. 3, San Francisco.

2) 斎藤清二，渋谷 隆，若林泰文，南部修二，松井俊二郎，田中三千雄，井上恭一，佐々木 博，三輪淳夫，窪田芳樹：ハムスター実験肺癌可移植モデルに関する研究—第1報，同種移植系および細胞培養系の樹立—。第70回日本消化器病学会総会，1984. 3, 東京.

3) 南 真司，魚谷浩平，能海 勲，村本 潔，杉浦 仁，三輪淳夫：全身骨に多発性打ち抜き像を呈した malignant fibrous histiocytoma の1例。第17回骨・軟部腫瘍研究会，1984. 7, 新潟.

4) 三輪淳夫，北川正信：眼窩内 meningioma の2症例。日本病院病理医協会中部支部第13回標本交見会，1984. 7, 名古屋.

5) 北川正信，村井嘉寛，三輪淳夫：高齢者肺癌の病理学的特徴。第25回日本肺癌学会総会。1984. 10, 東京.

6) 小山信二，龍村俊樹，村上 新，津田基晴，

杉山茂樹，山本恵一，北川正信，三輪淳夫：肺葉切除半年後に対側肺に再発を認めた肺の pseudolymphoma の1例。同上.

7) 中村一郎，数川 悟，遠藤正臣，三輪淳夫，北川正信，稲生暁春：Creutzfeldt-Jakob 病(panencephalopathy 型)の1剖検例。第12回臨床神経病理懇話会，1984. 12, 岡山.

◆ その他

1) 三輪淳夫，北川正信：神経原性と考えられる胸壁悪性腫瘍。病院病理 2：115—115, 1983.

2) 吉田正美，鍛冶友昭，黒田 淳，吉崎 亨，中村武夫，辻 政彦，三輪淳夫，北川正信：皮膚転移癌—症例報告と10年間の統計—。富山中医誌 7 (1, 2)：25—32, 1983.

3) 田近栄司，中村武夫，北川正信：男子原発性尿道移行皮癌の1例。富山中医誌 7 (3, 4)：5—9, 1983.

病 理 学 (2)

教 授	小 泉 富美朝
助 教 授	若 木 邦 彦
助 手	櫛 渕 統 一
助 手	澤 田 輔 善
教 務 員	倉 茂 洋 一

◆ 著 書

1) 小泉富美朝：循環器。「病理学各論 I」赤崎兼義編，11—65，改訂第8版，1984.

2) 小泉富美朝：膠原病における血管炎—その組織型と病理形態—。「わかりやすい血管の話」臨床編，108—116，メディカルトリビューン，1984.

3) 小泉富美朝，深瀬真之：プレドニン投与実験における血管および筋肉病変。「血管炎の疾患モデル」京極方久，福田芳郎，安倍千之編，51—59，医歯薬出版，1983。(昭和58年度追加)

◆ 原 著

1) Wakaki K., Koizumi F. and Fukase M. : Vascular lesions in systemic lupus erythematosus (SLE) with pulmonary hypertension. Acta Pathol. Jpn. 34(3)：593—604, 1984.

2) 上山武史，富川正樹，笠島 学，横川雅康，小泉富美朝：バージャー病罹患肢の血行動態—無侵襲診断法による検討—。厚生省特定疾患・系統的血管病変に関する調査研究班 1983年度研究報告書 184—188, 1984.

3) 肥田高嶺，小泉富美朝，若木邦彦，神山和世：

側頭動脈炎の1生検例—とくに巨細胞の免疫組織学のおよび電顕的検討—。厚生省特定疾患・系統的血管病変に関する調査研究班 1983年度研究報告書 278—283, 1984.

4) 松本三千夫, 水村泰治, 藤沢貞志, 高田正信, 飯田博行, 杉本恒明, 小泉富美朝: 慢性腎不全と原発性甲状腺機能低下症を伴ったシスチン症の1剖検例. 日内会誌 73 (8): 1183—1188, 1984.

5) 大浦彦吉, 横澤隆子, 鄭 平東, 小泉富美朝: アデニン誘発慢性腎不全モデルラットの作製. 医学のあゆみ 130 (11): 729—730, 1984.

6) 小泉富美朝: Allergic granulomatosis and angiitis (Churg-Strauss) の臨床病理学的検討. 厚生省特定疾患・系統的血管病変に関する調査研究班 昭和59年度第1回総会シンポジウム 41—49, 1984.

7) 京極方久, 沢井高志, 金城幸雄, 福田純也, 小泉富美朝, 細田泰弘, 福田芳郎: —1984年のMRA—病理学的実態調査の中間報告. 厚生省特定疾患・系統的血管病変に関する調査研究班 昭和59年度第1回総会シンポジウム 19—31, 1984.

8) 中田瑛浩, 若木邦彦, 粕川正夫: 腎動脈瘤の1例—腎虚血と腎プロスタグランディン増加を中心として—. 厚生連医学会誌, 1 (2): 29—34, 1984.

9) 古谷田裕久, 南部修二, 清水幸裕, 宮林千春, 市田隆文, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博, 若木邦彦, 小泉富美朝: 急性白血病に合併した真菌性肝膿瘍の2剖検例. 肝臓 25 (11): 1474—1482, 1984.

10) 小泉富美朝, 渡辺行雄, 小林英人: 習慣性扁桃炎の病理組織学的検討. 日扁桃誌 22: 5—9, 1983. (昭和58年度追加)

11) 南 幹雄, 舌野 徹, 林 義則, 中曾根敬一, 館野政也, 福村 健, 若木邦彦: 細胞診上典型的な Keratinizing type の扁平上皮癌を呈した原発性腔癌の一症例について. 富山県立中央病院医学雑誌, 17—27, 1983 (昭和58年度追加)

◆ その他

1) 小泉富美朝: 膠原病5疾患124剖検例における腎動脈病変の臨床病理学的検討. 厚生省特定疾患・系統的血管病変に関する調査研究班病理分科会 1—23, 1984.

◆ 学会報告

1) Fukuda Y. and Koizumi F.: Pathological studies on vascular lesions of the collagen diseases and the related conditions. 5th Seapal

Congress of Rheumatology, 1984, 1, Bangkok.

2) 桑原卓美, 加藤正彦, 川島猛志, 宝佳姫代美, 松田正毅, 近藤信一, 桜井信男, 中野 護, 坂東毅, 小泉富美朝: 急激な腹腔出血で死亡した急性単球性白血病の1例. 第23回日本臨床病理学会東海・北陸支部総会, 1984, 3, 福井.

3) 横澤隆子, 鄭 平東, 大浦彦吉, 小泉富美朝: アデニン誘発慢性腎不全ラットの組織学的, 生化学的研究 (1). 日本薬学会・第104年会, 1984, 3, 仙台.

4) 横澤隆子, 鄭 平東, 大浦彦吉, 小泉富美朝: アデニン誘発慢性腎不全ラットの作製. 第38回日本栄養・食糧学会総会, 1984, 4, 京都.

5) 肥田高嶺, 小泉富美朝, 若木邦彦, 田中 裕, 神山和世: 側頭動脈炎の1生検例—とくに巨細胞の電顕および免疫組織学的検討—. 第73回日本病理学会総会, 1984, 4, 東京.

6) 小泉富美朝: 膠原病における心血管病変—延命効果に伴う冠状動脈硬化性病変発生の危険因子について—第3回職業と疾病研修会・富山医師会, 1984, 3, 富山.

7) 小泉富美朝: 膠原病における冠状動脈の粥状硬化性病変について. 第28回日本リウマチ学会総会, 1984, 5, 東京.

8) 深瀬真之, 斎藤清子, 奥村 浩, 小泉富美朝: 筋炎を伴って急激な経過をとったSLEの1剖検例. 第28回日本リウマチ学会総会, 1984, 5, 東京.

9) 山田 均, 館崎慎一郎, 辻 陽雄, 岡野良文, 石井 勉, 小泉富美朝, 高田 徹, 神代靖久: 膝関節に発生した色素性絨毛結節性滑膜炎の7例. 第62回中部日本整形外科災害外科学会, 1984, 5, 大阪.

10) 横山彰仁, 鈴木英彦, 杉山英二, 山下直宏, 泉 三郎, 矢野三郎, 小泉富美朝: 入院経過中に病像が完成したATLの1例. 第123回日本内科学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

11) 舌野 徹, 館野政也, 林 義則, 中曾根敬一, 南 幹雄, 中野 隆, 丸山千鶴, 波々伯部重和, 小泉富美朝: 分娩時大出血をきたし救命しなかった Ehlers-Danlos 症候群と思われる1例. 第8回臨床遺伝研究会, 1984, 6, 広島.

12) 若木邦彦, 谷内宗臣, 田中 裕, 小泉富美朝: ラットの老化における病理学的検討(第一報). 第16回日本結合組織学会, 1984, 7, 名古屋.

13) 肥田高嶺, 若木邦彦, 小泉富美朝, 館崎慎一郎, 山田 均: 右肩軟部に発生した悪性リンパ腫の1例. 第17回骨・軟部腫瘍研究会, 1984, 7, 新潟.

14) Koeda T. and Koizumi F.: Immunopath-

ological study on myoglobin positive and anti-myoglobin antibody positive cells in myasthenic and nonmyasthenic thymuses. 10th International RES Congress, 1984, 9, Ito.

15) 横澤隆子, 大浦彦吉, 荻田善一, 若木邦彦, 谷内宗臣, 小泉富美朝: 老化ラットに対する和漢薬の影響について. 第1回和漢医薬学会, 1984, 9, 富山.

16) 古田 勲, 水分寿雄, 山本康一, 吉森寿美代, 沖田 進, 早津良和, 寺田周明, 小泉富美朝, 小浜源郁: Hypertrichosis を伴う idiopathic gingival fibromatosis の1症例に関する研究・1. 臨床病理学的検討・第29回日本口腔外科学会総会, 1984, 9, 札幌.

17) 中川 肇, 上田晋介, 稲葉博司, 浅井正嗣, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 小泉富美朝, 井上久美子: 扁桃が奏効した血漿蛋白異常を伴った acute generalized pustular bacterid の1症例. 第24回日本扁桃研究会総会, 1984, 11, 東京.

18) 小泉富美朝: 膠原病における血管病変について. 第33回膠原病研究会, 1984, 12, 新潟.

19) 肥田高嶺, 川口 誠, 若木邦彦, 小泉富美朝, 増田信二, 北川正信, 加藤義治, 山田 均, 辻陽雄: 慢性関節リウマチに合併した悪性リンパ腫の1例. 第11回新潟造血管腫瘍研究会, 1984, 12, 新潟.

20) 若木邦彦: 腎性高血圧とくに片腎性高血圧症の組織像について. 第5回富山医科薬科大学医学会学術集会, 1984, 12, 富山.

病 理 学(寄生虫学)

助 教 授 上 村 清
教 務 員 荒 川 良

◆ 著 書

吉村裕之・上村 清・近藤力王至: 寄生虫学新書(改訂7版), 272頁, 文光堂, 1984.

◆ 原 著

1) 渡辺 護, 上村 清: 最近のコガタアカイエカの多量発生と殺虫剤抵抗性について. 富山県衛生年報 7: 33—37, 1984.

2) 寺西秀豊, 福田京子, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 田中旨子, 加須屋実, 五十嵐隆夫, 荒川 良: 喘息児家屋内ダニ相のプレパラートトラップ法による観察. 北陸公衛誌 11: 15—20, 1984.

3) 荒川 良, 上村 清, 五十嵐隆夫, 寺西秀豊:

昆虫・ダニアレルギー症対策に関する基礎的研究—特に畳内に生息するダニ相について. 家屋害虫(21/22): 48—57, 1984.

◆ 総 説

1) 上村 清: 農薬で死ななくなったコガタイエカ. The Control 32: 1, 1984.

2) 上村 清: ネズミと衛生. 北陸と公衆衛生 19: 14—18, 1984.

◆ 学会報告

1) 上村 清, 渡辺 護, 荒川 良: コガタイエカの殺虫剤抵抗性の季節変動と地域差. 第36回日本衛生動物学会大会, 1984, 4, 広島.

2) 荒川 良, 上村 清, 五十嵐隆夫: 畳内に発生するダニ類の季節的消長と畳の材質との関係について. 第36回日本衛生動物学会大会, 1984, 4, 広島.

3) 吉村裕之, 赤尾信明, 北川正信, 上村 清, 吉村 平: 肺犬糸状虫症の2症例の追加. 第53回日本寄生虫学会大会, 1984, 4, 米子.

4) 上村 清, 渡辺 護: 殺虫剤抵抗性コガタイエカの発見. 第19回日本脳炎ウイルス生態学研究会, 1984, 5, 大阪.

5) 上村 清, 高須俊明: カラチ地方における蚊と日本脳炎存在との関係. 第19回日本脳炎ウイルス生態学研究会, 1984, 5, 大阪.

6) 上村 清: パキスタンにおける脳炎調査隊に参加して. 第3回北陸病害動物談話会, 1984, 6, 能登.

7) Kamimura, K.: Appearance of high resistant strain of *Culex tritaeniorhynchus*, the principal vector of Japanese encephalitis, to organophosphate and carbamate insecticides in Japan. 18th Joint Viral Panel Meeting, Japan-U. S. Cooperative Medical Science Program, 1984, 9, Oiso.

8) 上村 清, 荒川 良, 五十嵐隆夫: 富山県内の2住宅におけるダニ相について. 第39回日本衛生動物学会西日本支部大会, 1984, 10, 津.

9) 荒川 良: 寄生蜂における重複産卵の意義 II. 母蜂による先住寄生者への攻撃. 第44回日本昆虫学会大会, 1984, 10, 筑波.

10) 五十嵐隆夫, 松野正知, 足立雄一, 村上巧啓, 岡田敏夫, 寺西秀豊, 荒川 良, 上村 清: 室内塵性ダニ類に関する研究, 第2報 ダニ採取方法の比較検討. 第34回日本アレルギー学会総会, 1984, 10, 京都.

11) 荒川 良, 上村 清, 松野正知, 足立雄一,